

# サイボウズ コスト削減提案

## 活動基準原価計算法 (ABC: Activity Based Costing)

「ビジネスをアクティビティ単位に細かく分類し、アクティビティ単位のコストを算出する手法」各行動の人件費を算出し、見える化することで、注力すべき活動を導き出す経営手法です。

**日本の平均年収 432万円 → 分給 41円**

- 平均給与 432万円
  - 1日の平均労働時間：7時間42分
  - 1年間の平均休日日数：113日
- 1年間の労働時間（分） 105840分 = 1年間の労働日数252日×1日の労働時間（分）420分
- 分間給与 41円 = 平均給与435万円÷1年間の労働時間（分）105840分

<参考>

※厚生労働相 平成18年終了条件総合調査結果の概況

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/jikan/syurou/06/kekka1.html>

※国税庁 民間給与の実態調査結果（全データ）（平成18年）

<http://www.nta.go.jp/kohyo/tokei/kokuzeicho/minkan2006/menu/pdf/001.pdf>

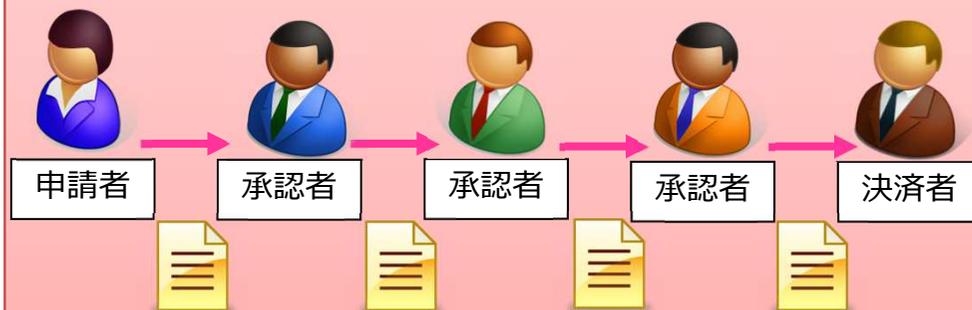
# 申請書類の電子化で、コスト削減

【例】(組織メンバー数:100名)

## 紙での申請を試算

- 紙で申請する場合 ■
  - ・ 一人当たり申請回数 36回/年
  - ・ 次の承認者まで回送時間 10分

稟議 1回 : 1,640円  
= 回送時間10分×4回×分間給与41円  
年間稟議代 : 590万円  
= 1回1,640円× 1人36回×100人



紙+印刷代金 : 90,000  
= 1枚当たり5円×36回×100人

「稟議」活動にかかるコスト  
590万円/年

+

紙+印刷代  
18,000円

上記例)

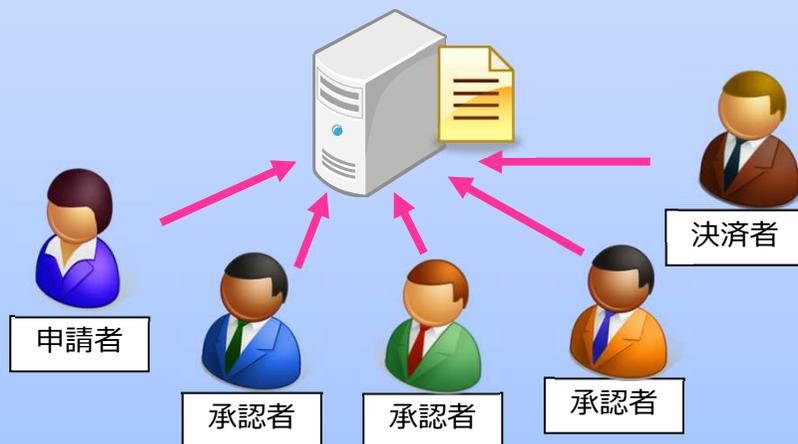
- ・ 100名の企業
- ・ 決裁までの経路が、「課長」→「部長」→「本部長」→「社長」である場合
- ・ 紙1枚+印刷代 5円

# 申請・決裁を電子化すると

## ■利用前■

- ・一人当たり申請回数 36回/年
- ・次の承認者まで回送時間 1分

稟議 1回 : 164円  
= 回送時間1分×4回×分間給与41円  
年間稟議代 : 59万円  
= 1回164円× 1人36回×100人



ワークフローを使うと・・・

531万円/年の  
コスト削減

申請業務を電子化することで、社内のコストを劇的に削減することができます。

## 「スケジュールラー」利用による時間コストの削減

【例】(組織メンバー数:100名)

4名での打合せが月10回ある。会議室の予約が必要。  
同様の打合せを25組がしている

### ■利用前■

予定調整業務

個人間調整 3回 × 2分

設備予約業務

移動 1分

予約記入 1分

$(3回 \times 2人 \times 2分 + 1分 + 1分) \times 10回$   
 $\times 12ヶ月 \times 25組 \times 41円 = 295万円/年$

### ■利用後■

予定調整業務

・登録作業 1回 × 2分

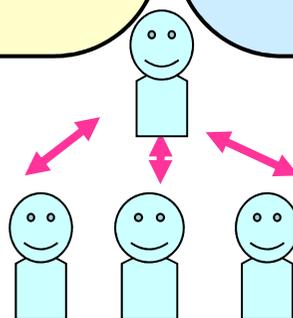
設備予約業務

・移動 0分

・予約記入 0分

$(1回 \times 2分 + 0分 + 0分) \times 10回$   
 $\times 12ヶ月 \times 25組 \times 41円 = 24万円/年$

見えないコスト  
295万円/年



年間271万円の  
コスト削減

# 「掲示板のフォロー機能」利用による会議コストの削減

【例】（組織メンバー数:100名）

部門会議は1週間に1度。会議時間は1時間。参加人数は10人。  
同様の会議は5部門で行っている。

## ■利用前■

### 会議内容

- ・ 情報伝達/確認業務 40分
- ・ 改革議論 10分
- ・ 意識高揚 10分

$(40分 + 10分 + 10分) \times 10人 \times 50週$   
 $\times 5部門 \times 41円 = 615万円/年$

会議で情報連絡と確認の  
両方を行えば40分

## ■利用後■

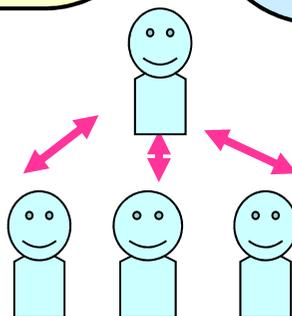
### 会議内容

- ・ 情報確認業務 10分
- ・ 改革議論 10分
- ・ 意識高揚 10分

$(10分 + 10分 + 10分) \times 10人 \times 50週$   
 $\times 5部門 \times 41円 = 307万円/年$

事前に掲示板で伝達。会  
議では確認のみで10分

見えないコスト  
615万円/年



308万円/年の  
コスト削減

**<事例>**

**コスト削減を実現されたお客様**

# 生産性の向上

## ■株式会社ミナミ 様

スタッフ一人一人が持っている豊富な情報を共有



店舗にある「POS」レジとサイボウズを連携。  
すでにあるインフラを使って情報を共有することで全スタッフに浸透。  
社員一人一人の意識が向上。



導入後、一番変わったのは**コミュニケーションの経路と速度**です。  
社内情報は、**全社員に対して正確かつタイムリーに伝えたい**と考えています。それを確実に実現できるようになったのもサイボウズ ガルーンで本部と店舗スタッフとのコミュニケーションラインができたおかげです。



サイボウズ社HPより  
<http://g.cybozu.co.jp/gr/shien/jirei/kaisha/minami.html#01>

業務企画部 上野 征之 様

# メンテナンスコストの削減

■日本ピラー工業株式会社 様

「Notes」からサイボウズへの乗り換え効果を実感！

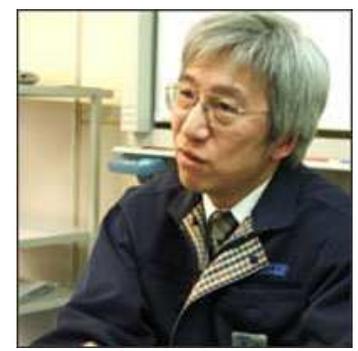


メンテナンス作業の複雑な「Notes」からサーバー一元管理のサイボウズに乗り換え。  
わかりやすい画面、簡単な操作で導入コストも軽減。



## 担当者の声

クライアントサーバー型では、何か問題が起きたときやバージョンアップなどのときに、10人弱しかいない情報システム部のスタッフがわざわざ拠点に行かなくてはならず、負担が大きいという問題がありました。  
**サイボウズは操作も簡単で扱いやすいです。**  
**情報共有の利便性が向上し、情報システム部の負担も軽減しました。**

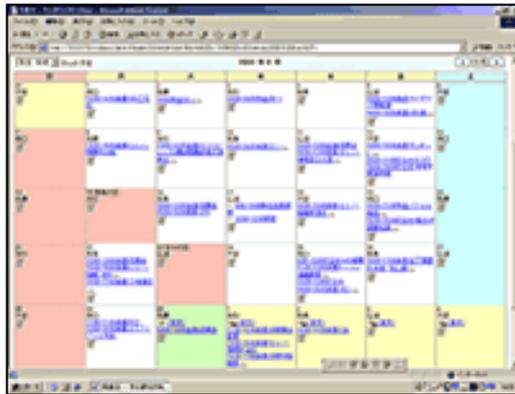


# 老舗企業とIT

## ■株式会社三省堂書店 様 100年企業に学ぶIT活用術と現場力



三省堂書店



戦略の要である担当者同士の情報交換が飛躍的に向上。  
業務フローが改善され、人的コストが削減された。全般的なオペレーションコストは以前の20分の1に。



### 担当者の声



情報システム室室長  
児玉 好史氏

Copyright © 2014 Cybozu

サイボウズは**基本的な機能はすべて揃っています**。作り込まなくても使えるし、操作も非常にわかりやすい。**コストをかけず目的のシステムを構築できる**サイボウズは最適といえました。

サイボウズ社HPより  
<http://cybozu.co.jp/casestudy/example/sanseido/>

# ペーパーレス会議を実現

## ■大和証券 様

新システムで会議風景が一変、“コピー取り”全廃  
オフィス移転に伴い紙の使用量半減が目標に



グループウェアの機能  
を利用して、予算関連  
など20種類ある定例会  
議は原則として電子会  
議で運営中



### 担当者の声



会議に関していうと、とにかく紙が減ったというのが実感です。当社ではシンククライアントを本格的に導入しています。そのため、例えば会議の場合なども資料は事前にグループウェア2に登録して、会議の際にはシンククライアントからそのファイルを見に行くというスタイルが定着しましたので、以前のように紙の資料を配布することもなくなりました。

※参考URL <http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/JIREI/20080818/312896/>

# 削減効果と成功事例

## ① ミナミ 様

情報伝達のスピードアップでコスト削減。  
生産性の向上は「ミナミならではの」のサービスを生んだ。

## ② 日本ピラー工業 様

グループウェアにかかるコストはNotes時代の3分の1に。  
管理のコストと負担も大幅に軽減。

## ③ 三省堂書店 様

コスト削減にシビアな老舗企業がITを積極的に活用し、  
オペレーションコストを20分の1に削減。

## ④ 大和証券 様

スケジュール機能を活用し、ペーパーレス会議を実現し、  
紙の使用量が半減。

**ムダとムラを省いて必要なものに投資**